ワクチンデビューは生後2か月から

5種混合ワクチンの予防接種を受けましょう

ジフテリア

感染すると息がしにくくなり、心臓障害や神経麻痺を起こすこともある重篤な病気です。

百日せき

風邪のような症状ではじまり、徐々に咳がひどくなり顔をまっ赤にして連続的に咳き込むようになります。年齢が低いほど症状は重く、無呼吸発作やけいれんを起こすこともあります。

破傷風

土の中に潜んでいる破傷風菌が傷口から侵入して感染する病気です。けいれんや口が開かないなどの症状が現れます。

ポリオ

ポリオウイルスによって手や足に麻痺が起こり、後遺症が残ることもあります。「小児麻痺」とも呼ばれています。

Hib※感染症

髄膜炎や敗血症などの重い病気を起こすことがあります。ほとんどが乳幼児で発生しますので、注意が必要です。

※インフルエンザ菌b型

標準的な接種スケジュール

生後2か月から

1回目 → 20日以上* → 2回目 → 20日以上* → 3回目 → 6か月以上** → 4回目

*20～56日の間隔

*20～56日の間隔

**初回免疫後6か月～18か月後

初回免疫（1～3回目）

追加免疫

合計4回の接種を受けると基礎免疫が完了します。特に、4回目の接種を忘れないように、上手に接種スケジュールを組みましょう。

ワクチンを接種することは感染症から人々や社会を守るというベネフィットがある一方、副反応のリスクもあります。
ワクチン接種に関して気になることは、お住まいの市区町村またはかかりつけ医に相談しましょう。

田辺三菱製薬 | Pfizer

2024年3月作成　B5KG309A-GOB45O001A　（審）24II172